

は諸大夫は座をよしめるきむだちにはゆづりて下にこそゐ候しか、諸大夫の上居このみはじめ候事も、顯季の三位の玄出したる事にこそ候めれ、

〔職原抄通考十六〕隆房大納言卿者、重盛之妹聟也、旁以振威勢、既昇進如公達之家乎、又山科家者、西隆季卿弟實教卿祖也、然自四條流相分鷺尾、初任近衛將、以前父隆季卿弟家門成親以下任近衛將、蓋此流依斷絕此書、以隆房卿爲初例歟、

〔光臺一覽三〕名家十六軒と申は、勸修寺、萬里小路、甘露寺、小川坊城、清閑寺、葉室、以上勸修寺家、廣橋竹屋勘ヶ由小路、柳原、三室戸、日野西、裏松、以上日此十六軒なり、右之本家は日野勸修寺也、眞夏冬嗣の御流也、此中に、竹屋中御門、三室戸、勘ヶ由小路、日野西、裏松は家弱し、餘は各本家並として等同なり、頭之辨を兼て大納言に任じ、極老從一位に叙する也、

〔故實拾要十二〕名家日野流

藤日野、先祖勝光公、從一位大臣贈左府二代有之、同廣橋准大臣四代有之、同烏丸代有之、同小河坊城代有之、同中御門從一位、同萬里小路、同甘露寺、同葉室、以上勸修寺家、廣橋竹屋勘ヶ由小路、柳原、三室戸、日野西、裏松、以上日此十六軒なり、右之本家は日野勸修寺也、眞夏冬嗣の御流也、此中に、竹屋中御門、三室戸、勘ヶ由小路、日野西、裏松は家弱し、餘は各本家並として等同なり、頭之辨を兼て大納言に任じ、極老從一位に叙する也、

名家勸修寺流

藤勸修寺、内大臣二代有之、同清閑寺、内大臣二代有之、同萬里小路、内大臣四代有之、同甘露寺、從一位大臣二代有之、同烏丸、同小河坊城、從一位、同中御門、同萬里小路、同甘露寺、從一位、同葉室、以上勸修寺家、廣橋竹屋勘ヶ由小路、柳原、三室戸、日野西、裏松、以上日此十六軒なり、右之本家は日野勸修寺也、眞夏冬嗣の御流也、此中に、竹屋中御門、三室戸、勘ヶ由小路、日野西、裏松は家弱し、餘は各本家並として等同なり、頭之辨を兼て大納言に任じ、極老從一位に叙する也、

名家兩家庶流

藤竹屋、同日野西、侍從任同裏松同勘解由小路、同藤芝山、同梅小路、同池尻、同穗波、同藤富小路、平長谷、同源竹内、新羅義、
家裝束之家、平西洞院、同平松、藤高倉、名、○申略、○申略、○申略、○申源竹内、新羅義、

〔職原抄支流〕羽林名家之外并ニ家業極位極官

一 藤 高倉 大納言
正二位

一 菅 高辻 大納言
正二位

一 菅 五條 正二位

一 源 五辻 左馬頭